

日本山岳写真協会ニュース

日本山岳写真協会(Japan Alpine Photographers Association)

12月号

2020年12月15日発行
(第478号)

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号 第一原嶋ビル502号
TEL/FAX(03)5357-7387 日本山岳写真協会

メールアドレス japa@lime.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.japa.server-shared.com/>



「 強 風 の 赤 岳 西 壁 」

飯野 金雄会員 撮影

総会 開催のお知らせ

日 時 令和3年2月7日(日)
・総会 13:00～15:00

会 場 上野・精養軒
東京都台東区上野公園4番58号
TEL: 03-3821-2181

===== アクセス =====

- JR 上野駅・公園口徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線
上野駅8分
- 京成電鉄・上野駅8分

○今年の新年会は中止といたしました。

「新型コロナと山岳写真の1年間」

理事 鈴木 菊雄



新型コロナが世界に猛威をふるい非常事態での年末を迎えた。日本山岳写真協会の活動や個人撮影も大幅に縮小しているが、2020年の会業務と私の1年間を振り返ってみたい。

当会では理事として写真展・公募とIT業務を担当している。年初の2月2日には総会・新年会が滞りなく開催され、恒例の協会展応募も3月13日から始まった。その後は感染が拡大するにつれて、応募作品の諸作業も事務所では出来ず担当者が自宅で行った。審査も5月中旬に延期したが、結果的には緊急事態宣言で協会展や選抜展、支部展・例会など多くの行事が中止になった。折角多くの方が応募したのに作品は返却することになり、公募でも作品と応募料の返却作業を担当自宅で行った。感染は続いているが2021年の公募は通常通りに行うことが決まり、主要な山小屋やギャラリー等へ応募要項チラシを配布し12月には雑誌各社へ1～2月販売号への掲載を依頼した。毎月開催の理事会は3月から5月はEメールで、6月から9月は担当理事チーフのみ事務所で、10月と11月は貸事務所にて通常メンバーが出席して開催された。12月現在、年度末の諸作業と来年度の計画や総会への準備が進んでいる。

私自身も3月中旬に海外撮影から帰国したが、直後から緊急事態で撮影や作品発表も停滞している。予定していた春山や夏山撮影も周囲への影響や不要不急ということから自粛、9月下旬になってやっと7か月ぶりにカメラ持参の秋山撮影ができた状況である。作品発表では2月下旬からヒルトン東京ギャラリーで開催された山岳写真団体展に、昨年撮影した「星夜北岳」と「秋色の谷川岳」を出展したが来場者は少なかった。幸いにも雑誌掲載では山と溪谷5月号のグラフ8ページに「アンデス・ブランカ山群の貌」、ROCK & SNOW 9月号グラフ2ページに「パタゴニア」、11月には「美しい世界の山カレンダー

2021年」表紙に「怪峰ジャヌー北壁」と5月に「嵐大地のフィッツロイ」アルパインカレンダーに「秋色の富士宝永火口」を掲載できた。

今年は自粛の成果で写真作品の身辺整理が一気に進んだ。今では用途が激減したポジフィルムの再チェックと廃棄だ。私はプロニ板が主で、国内撮影でも220版が1回で5～10本、海外撮影では100本以上、サブの35mmも加えればかなりの消費であった。多くは研究会用か写真展用だが、撮影直後に数カット保管したが他は廃棄しきれずに残っていた。今回はデジタル処理で生き返りそうな作品を見直して抽出、80%位は思い切って廃棄した。昨年より山域別にPhotobookを制作、見える印刷物にする作業をしており、6月までに25集が完成した。27cmスクエアとA4横版の2種類、ページ数は20～30ページ、印刷数は夫々3冊程度だ。作品写真集というよりプリント印刷での遺作記録集である。

担当のIT作業でホームページの更新は自宅で行うため影響はなかったが、今年は事務所パソコンの入れ替え作業で何度か出勤した。事務所パソコンはドキュメントの確認・修正やプリント、写真展用の画像チェック等が主な用途である。導入したのはEpson Direct製のBTO、ソフトはMicrosoft OfficeとPhotoshop Elements 2020をインストールした。Eメール受信は当番が不定期で行っているが、常駐事務員が不在のため処理が遅くなっていた。多くは会員からであり、今後は担当者に直接連絡するように会報に掲載した。

20年位前より雑誌・新聞・電波媒体の存在感が薄れて、Hpなど新Webの比重が高まっていたが、最近ではスマホやタブレットの普及もあり劇的に変化している。当会でも4年前よりFacebook (Fb)での発信も開始した。当時はSNSでの山岳情報はFbが最も盛んであったが、最近ではTwitterで山小屋のスタッフや登山者からの情報が連日目立ってきている。今年は感染拡大に伴うテレワークも定着し、Zoomやlineの活用も増えてきた。

当会のデジタル研究会でZoomの試験的な活用が始まっているが、今後はこのような新Web媒体の山岳写真への活用が増えてくるだろう。会員の高齢化が進む昨今、益々腰が重くなりそうだが、フィルムからデジタルに変わったように避けて通れない問題である。

令和3年 総会のお知らせ

日本山岳写真協会 会長 橋本 勝

下記要領にて日本山岳写真協会の総会を開催いたします。
万障繰り合わせご出席下さいます様お願い申し上げます。

記

日 時 令和3年2月7日(日曜日)
総会・13時～15時
会 場 上野・精養軒
東京都台東区上野公園4番58号 03-3821-2181
議 案 令和2年度 事業報告・決算報告
令和3年度 事業計画・収支予算案 ほか

◎今年はコロナ禍の中、感染防止もあり新年会は中止といたしました。

◎総会の出欠を12月号に同封したハガキに記入し1月10日までに到着する様
投函して下さい。なお欠席の方は委任状に記入して返信して下さい。

11月理事会議事録

日 時 令和2年(2020年)11月14日(土)
午後1時15分～3時30分
場 所 ハロー貸会議室神保町8階
出 席 者 青山・飯田・伊藤・岩本・大石
上ヶ平・清水・鈴木(菊)
町田・渡辺
川井・鈴木(克)・花香
大村・関口・緑川 16名
<司会>大石 <記録>岩本

***** 議 事 *****

1 会員の入退会について

退会者 997 清野 秋雄(長野県茅野市)
610 井上 雅至(大阪府大阪市)
635 丸山 智弘(埼玉県所沢市)

以上3名の退会が承認された。

2 各委員会報告について

○総務(岩本副理事長)特に報告事項はなし。

○会計(町田理事)特に報告事項はなし。

○会報(飯田副理事長)会報11月号は休刊
となります。

会報12月号には令和3年2月7日の総会
出欠はがきと年会費納入用紙を同封する。

○IT(鈴木菊雄理事)ホームページの更新は
月始めに作業している。表紙には2021年
の一般公募の応募要項を掲載予定。2021
年の3月12日からの公募開始に向けて写
真展ギャラリーなど20か所に応募チラシ

を発送した。壁面などに掲示と配布をお願
いした。また雑誌社などへ1月号か2月号
に掲載依頼をする。

(上ヶ平理事)会費納入時の領収書、会員
証発行の際、裏面にIDとパスワード掲載
依頼をした。

○企画(渡辺理事)

平成30年6月24日に救急救命士の講習を
24名がハロー貸会議室飯田橋駅前を受講
したが有効期限があり、再度講習をする必
要がある。新規で受講を希望する人にも会
報でPRをしてある程度の人数が集まれば
講習会が実施できるので来年の会報1月号
で募集の計画をしたい。

○写真展(清水副理事長)

2021年の選抜展の作品を11月30日が作
品募集の締め切りで、令和3年1月に審査
予定。

3 理事改選について(任期 令和3年から 令和4年 会則第11条)

理事信任投票について(岩本副理事長)

10月会報に同封した理事信任回答はがき
は13日現在241通があり、会員数466名の
過半数以上で信任されたと報告した。

新理事長には副理事長の清水隆雄氏、副理
事長には飯田・岩本の両氏の再任を推挙した。
理事長の大石氏は退任する。また会長・副会
長が任期満了につき12月理事会で推挙し総

会での承認議案事項とする。(会則第10条)

4 令和2年度の決算概要について

(町田理事)

今年は新型コロナウイルス感染症防止のため多くの協会事業が中止となり、収支の中間報告をした。収入の部では入会者も少なく特に公募展の入会者もなく現会員の年会費のみでした。支出の部では協会展・公募展は中止となり会場費などの支出はない。選抜展は展示パネルを制作してからの中止で出展者へ一部返金した。12月理事会で今年度の決算報告と来年度予算案の報告を行う。

また2021年度の協会展、一般公募展・公募表彰式等は開催をする予定で予算化する。

山と溪谷社の「山小屋エイド基金」に20万円を寄付金として予備費から支出した。

5 12月理事会の開催について

(大石理事長)

12月理事会は通常理事会として12月12日(土)午後1時からハロー会議室神保町8階会議室を予定。支部長で参加可能な方は出席していただく。出席した支部長には規定の交通費を支給する。

6 12月合同理事会開催について

(大石理事長)

合同理事会開催について理事長が各支部長に意見を聞いた。各支部長からの意見内容を報告した。感染症対応で開催を中止する意見が多く開催中止を各支部長に連絡したと報告。

7 令和3年度の総会等の開催について

総会開催について令和3年2月7日(日)

を予定している。総会と新年会開催について議論した。新年会は中止しても総会には出席者が少なくても開催した方がよいとの意見が多い。10月30日上野精養軒で企画理事が打ち合わせした、新年会を中止でも総会会場として使用できるとの回答で検討している。費用の件もあり他の会場も検討して12月理事会で決めたい。

8 令和4年度以降の協会展について

(清水副理事長)

2021年の協会展は開催する方向で準備する。東京都美術館で令和4年以降の会期と会場の説明をした。12月1日に抽選会があり、大石理事長と清水副理事長が出席する。会期と会場の変更について議論したが、会期は18回期(8月31日～9月8日)従来通りで、展示室は2階第4展示室から2階第1展示室(入口に近い)に変更案が決まり、抽選会はこの案で希望することが了承された。

9 その他

東海支部創設40周年写真展が11月17日から23日まで愛知県美術館ギャラリーで開催される。

1月理事会会場は未定(TKP四谷駅前)検討中、来年度の理事会会場をどうするか検討する。

■次回の理事会予定

12月12日(土)午後1時15分より

ハロー貸会議室神保町8階

10月定例理事会議事録

日 時 令和2年10月17日(土)
午後1時15分～3時
場 所 ハロー貸会議室神保町8階
出席者 青山・飯田・伊藤・岩本・大石
上ヶ平・小堀・清水・鈴木(菊)
町田・渡辺
川井・鈴木(克)・花香・川嶋
大村・関口・曾布川・緑川
19名
(司会)大石 (記録)青山

***** 議 事 *****

1 会員の入退会について(岩本副理事長)

特になし

2 各委員会報告事項について

- 総務(岩本副理事長) 理事改選の信任はがきを作成し、10月会報に同封する。
- 会計(町田理事) 協会展の会員作品返却費用と公募作品返却費用が発生している。東京都美術館の会場使用費は中止の為に発生していないので、写真展補助費で対応する。選抜展の会場費も中止の為に発生していないので、選抜展補助費で対応する。まだ未清算の費用もあるので11月理事会で再度報告する。
- 会報(飯田副理事長) 10月号の会報は8頁、11日に入稿し校正中、発送は10/23,24日頃、11月は休刊で次回は12月となる。年始挨拶を欠礼する忌中の連絡の締め切りを早める。

○I/T（鈴木菊雄理事） ホームページの更新は月末から月初めに作業を行う。

事務所の新パソコン（PC）についてアプリケーションソフト等の設定が終了し使用できる。JAPAの公式メールはIT担当で受けそれぞれの担当に送るので共有できる。IDとパスワードは非公開で利用の際はIT担当へ連絡する。

○企画（渡辺理事） 11月の例会は中止とする。

○写真展（清水副理事長） 令和3年（2021）年度、協会展の東京都美術館での使用が、承認された。会期は8月31日（火）～9月8日（水）（9月6日休館）
令和4年度からの会場使用については、使用割り当ての抽選会が12月1日に行われる。

2021年度の協会展開催中のセミナー会場の抽選が令和3年2月に行われる。

一般公募：11月以降に来年度の一般公募のチラシを雑誌社、ギャラリーなど関係機関に発送して掲載依頼をする。

選抜展：（小堀理事）：2020年度の選抜展は新型コロナ感染防止の為、中止した。2021年度の選抜展は新たに作品を募集して開催予定。募集要項を10月号会報に掲載し、募集の締め切りを11月30日の1日のみとする。

選抜展開催は2021年11月頃を予定。

○その他（鈴木克洋副会長）

山と溪谷社の山と溪谷誌12月号（11/15発売）付録のカレンダー写真の依頼があった。写真展委員で8月中旬に選考し13名の会員に依頼しほぼ出来上がる。

3 理事改選について（令和3年～4年度任期2年間）（大石理事長）

1) 理事推挙(案)について（会則第10条・11条の規定）

2020年末で任期2年が満了する。理事推挙案では再任理事は現在の理事13名と新任理事候補は4名の現委員（1名退任）と他に1名を推挙し、合計5名を候補とした。

合計18名を理事団として会員の投票で信任される。

2) 理事信任の投票はがき発送について

10月の会報に同封する。返信期限は11月13日までとする。

4 11月理事会の開催について

（大石理事長）

11月14日（土）午後1時より通常理事会としてハロー貸会議室神保町8階で感染防止対策をとって開催する。

5 12月理事会・合同理事会開催について

（大石理事長）

12月の理事会は12月12日（土）午後1時からハロー貸会議室神保町で開催する。合同理事会は12月19日（土）か20日（日）の開催については「開催中止でメール等で意見を交換する」「通常通り開催する」の2案について、各支部長に意見を聞く。議題として、2021年度の行事、セミナー、合同撮影会等協議する予定。

6 令和3年度の総会等の開催について

（大石理事長）

1) 総会及び新年会開催について

・総会のみで開催とし、2月7日（日）に開催予定。会場は別途検討する。

・会長、副会長の任期満了に伴い、理事会で推薦して総会で承認を得る。（令和3年～6年、任期4年）（会則第11条）。

7 その他

川井靖元写真展「岳・信仰・民」

富士フォトサロン東京（六本木）

2021年1/22（金）～1/28（木）

富士フォトサロン大阪

2021年4/1（金）～4/8（木）

富士フォトサロン名古屋

2021年6/4（金）～6/10（木）

富士フォトサロン札幌

開催期間未定

の後援の依頼があり承認された。

■次回定例理事会 令和2年11月14日（土）
午後1時～（ハロー貸会議室神保町）

会計からのお願い

同封いたしました令和3年度の会費納入の郵便振込用紙は1月になってから振込んで下さい。（本部会員）

◎会費は2月15日までに納入して下さい。

『東海支部創設40周年記念写真展』参加報告

記 大島 隆義

11月17～23日、愛知芸術文化センター8階「愛知県美術館ギャラリーG」で開催された東海支部創設40周年記念写真展「山・自然との対話」に参加しましたので報告いたします。

今年で東海支部は創設40年を迎え、記念すべき年に新型コロナウイルスという疫病が世界的に猛威を振るい日本各地にも広がり経済や生活に多大な影響を与え、イベント・文化活動は当然ながら自粛を余儀なくされました。

そんな中、我々東海支部は半年以上の時間を費やし何度も役員会を設け、支部員皆と話し合い、万全な対策や準備を講じて開催することを決意しました。

会場として選んだ愛知県美術館は、支部長と担当役員がこれまでの活動経歴や沢山の資料を準備し、幾度も足を運び厳しい審査申請を経て開催獲得することができたのは、我々が山岳写真において作家集団である事が認められたと自負しても過言では無く、40周年の記念すべき催事に相応しいものとなったと思います。

展示作品としては東海支部員からは新作1点とこれまでの作品2点を用意し各自3点と全倍サイズ計59点。協会支部としては珍しい海外作品展示（6点）や、四季折々の日本各地の山岳風景と場外展示も設けB0サイズ5点を展示。又、本部から川口名誉会長・橋本会長を筆頭に役員9名9点の協会を代表するに相応しい作品を拝借、6支部から代表者4名4点の作品は、地元の強み伝わる作品や代表的な山域作品、計33点が並び総数97点を盛大に展示する事ができました。

展示開催会場としては我々のみとなりながら7日間開催で述べ1200人の来場者となり、各新聞社の取材や山・写真雑誌の告知掲載、各自SNSなどの宣伝により多くのお客様に見ていただく事ができ、沢山の感想や今後の励みとなるご意見などをいただきました。

気持ちとしては祝賀会を催したいところではありましたが、対策を講じても難しいと判断し中止と致しました。楽しく会話しながら写真展が開催できる事、一刻も早い新型コロナウイルスの収束を願うばかりです。

最後に作品をお貸し出し頂いた本部役員、各支部の皆様、遠方より駆け付けご来場くださった方にはこの場をお借りして、重ねてお礼を申し上げます。



* 東海支部創設40周年記念図録 700円（税込）

送料370円（レターパック）

サイズ：A4 スクエア（ソフトカバー）

内容：展示作品56点を収録、作品解説、支部員プロフィールなど

● 購入・お問い合わせ

担当：大島 隆義 TEL：090-9892-6507 Mail：t.oshima.photo1@gmail.com

東海支部 創設40周年記念誌出版



左掲の記念写真展に合せ創設40周年記念誌を出版した。今回は写真展の出品作をメインに作品解説や支部員のプロフィールなども掲載している。お問い合わせは大島隆義会員まで

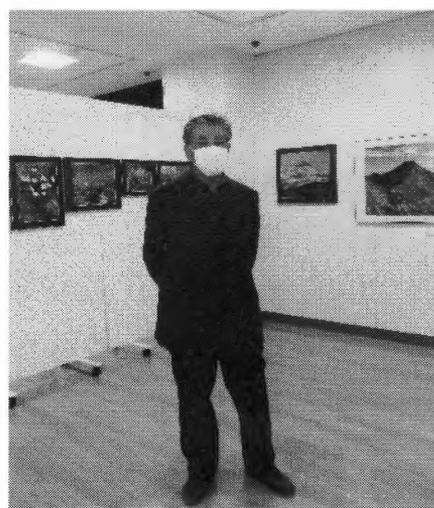
写真展報告

三枝仁也写真展「私の好きな南アルプス」 11月6日～17日 南アルプス市立美術館

今年3月に実施の予定だった写真展である。タイトルは南アルプスだが実質的には北岳がメインテーマだ。「三枝の北岳か、北岳の三枝か…」というぐらい各種カレンダーで皆さんおなじみの、どっしりした山岳景観が展開する。ギャラリーは照明が明るく写真展示に最適で、コロナ禍にもかかわらず、連日予想以上の入場者数を記録した。

延期等の曲折があったが、「写真展をやってよかった」と実感したに違いない。本人は、これからデジタルカメラに切り替えるというが、今までと同様、重厚な作品を見せてくれることだろう。

(福島記)



山梨支部会員が写真集を出版

当支部会員、奥水忠比古と福島静雄が相次いで写真集を出版した。

奥水会員にとって、これで3冊目となる八ヶ岳写真集である。権現岳、赤岳から望む空や雲の表情に絞った作品群だが、奥水氏の手にかかると自由奔放ともいべきスペクタクルが展開する。現在の山岳写真界を見渡して、八ヶ岳にこれほどのめり込んだ写真家は存在しない。したがって、次はどんな作品を引っ提げて見せてくれるか、楽しみが増すばかりだ。

福島の本は、おもちゃ箱をひっくり返したような写真の配列である。掲載写真は230点。時系列に作品を並べているだけで、本人は「カタログのようなもの…」といている。作品の中には「？」と指摘されそうなのが散見され、これから「本格」を目指す向きから抵抗を受けそうだ。

なお両書とも機材はデジタルカメラで、少部数出版のため残部僅少となっている。

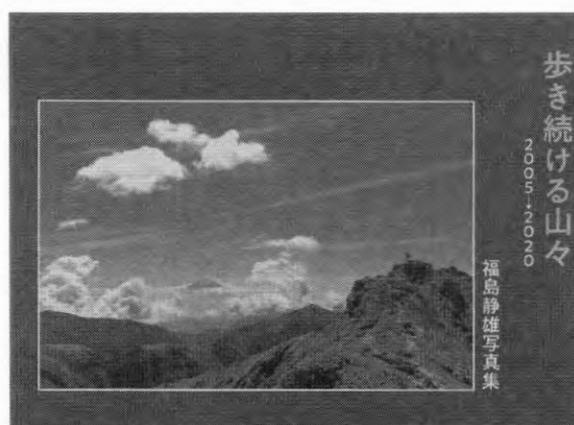
(福島記)



奥水忠比古写真集

八ヶ岳 空と雲の狭間にて
赤岳・権現岳から

M版 (20 cm×20 cm) 80 p
印刷・製本 PHOTOREVO
(ダルクセキ株)



福島静雄写真集

歩き続ける山々 2005→2020

A4判 158P

印刷・製本 (株) イニユニック



〈デジタル モノクロームの美〉 写団創美 写真展V

- ・会期= 2021年1月28日(木)
～2月3日(水)
- ・会場=ポートレートギャラリー
(新宿区四谷 1-7-12)
- ・JAPA から
岡 孝雄、上ヶ平 裕彦、鈴木 隆志、
瀬戸口 隆司、名取 洋が出品。

写真展案内 第5回手漉き紙 富玉文化風景写真展

日本と台湾の「文化風景」、「山と自然」などをテーマに両国の写真を展示。

と き= 2021年2月6日(土)～14日(日)
 ところ= 静岡県湖西市 アニメティプラザ
 JAPA より
 青山 陽子、鈴木 隆志、名取 洋が出品

第5回手漉き紙富玉文化風景写真展

The 5th time Handmade paper Yufu Cultural landscape photographic exhibition

日本と台湾の「文化風景」、「山と自然」「浜名湖」と「日月潭」をテーマに日本台湾双方の写真家作品と一般コンテストによる手漉き紙写真を展示。温かみのある手漉き紙による写真作品の世界をお楽しみください。また手漉き紙にプリントされた「一筆写信(写真による絵手紙)」も展示されます。

名取洋(日本) 謝嘉南(台湾)

- 台湾会場=台湾南投縣文化園區/南投縣美術館資料館
2020-11-14(土)～11-29(日) 9:00～17:00 月曜休館
- 日本会場1=山梨県道の駅みのお富士川観光センター
2020-12-05(土)～12-13(日) 9:00～17:00 水曜休館
- 日本会場2=静岡県湖西市アニメティプラザ
2021-02-06(土)～02-14(日) 9:00～17:00 木曜休館

●問合せ先=世界手漉き紙文化協同会 TEL.054-366-7230 日・中・英語可

写真展案内

川井靖元写真展

『岳・信仰・民』

と き = 2021年1月22日(金)
～1月28日(木)

ところ = 富士フィルムフォトサロン東京
東京都港区赤坂9-7-3
フジフィルムスクエア内
・大阪・名古屋・札幌でも開催

—写真展の内容—

世界最大のヒマラヤ山脈のネパール、中国の
国境線を挟んで北側にあるチョモランマ峰、
南側にあるマナスル峰、西側にあるカイラス
峰について高所山岳と信仰、地域住民を紹介
するものです。



「2021年1月デジタル研究会」

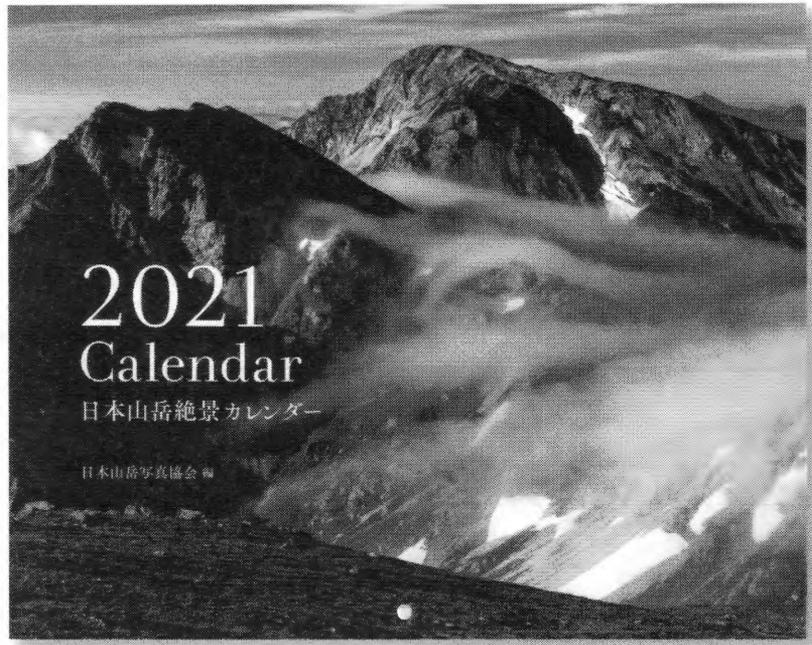
第81回デジタル研究会をテレワーク形式で下記により開催します。

日 時	2021年1月13日(水) 19:00～20:30 接続確認は18:00より可能です。20:30以降でオンライン懇親会(希望者参加)を予定しています。
開催方式	Zoom(ズーム) ウェブミーティング ウェブカメラ付のパソコンまたはスマートフォン、タブレットでご参加ください。
参加方法	JAPA ホームページの会員専用 (https://www.japa.server-shared.com/member/) から 前日までに参加をお申込みください。 (2020年度会員証裏面に記載のID・パスワードが必要です)
テ ー マ	2021年の展望(登山界、写真界)

◎来春、名簿作成の年となります。

住所変更又はTEL、メール(新規・変更)等の
ある方は総務・久保田理事まで通知して下さい。

山と溪谷社 本誌12月号付録に協会協力



山と溪谷社の本誌12月号付録に協会々員が協力し、2021年日本山岳絶景カレンダーが作成された。サイズは左右19.5、タテ16センチ、掲載作品は鎌田則雄、飯田信義、大石高志、鈴木克洋、橋本勝、清水隆雄、黒岩誠、川井靖元、鈴木菊雄、花香勇、佐々木信一、津野祐次、福島静雄の13氏。

山と溪谷社カレンダーで協会会員諸氏活躍！

山と溪谷社刊の2021年・山岳カレンダー及び花カレンダーで日本山岳写真協会々員諸氏の作品が多く掲載された。カレンダー別に記してみると次の通り（作品略、氏名のみ、敬称略）。

◎美しき日本の山（大判）

黒岩 誠、鈴木克洋

◎美しき世界の山（大判）

鈴木菊雄（2点）、川井靖元、名取 洋、岡 孝雄

◎日本百名山（中判）

鈴木克洋、花香 勇、川井靖元、武内 進、三枝仁也

◎MOUNTAINS（日本百名山より・卓上）

飯田信義、大石高志、緑埜公一、黒岩 誠

◎アルパインカレンダー（ダイアリー）

武内 進（2点）、鈴木克洋（2点）、矢尾正己（2点）、小林喜富（2点）、道 健一、岡 孝雄、長谷川由美子、花香 勇、名取 洋、久野 巖、兼子洋行、太田秀男、大島隆義、三枝仁也、鈴木菊雄、飯田信義、大石高志

◎日本花紀行（中判）

鈴木克洋（2点）、名取 洋（2点）、花香 勇、上條英直

◎フラワーカレンダー（ダイアリー）

上條英直（4点）、名取 洋（3点）、鈴木克洋（3点）、花香 勇（2点）、小林喜富、平澤 實、飯田信義

会員の皆様へ協会事務所電話等の問い合わせについて

協会事務所は係が常駐していませんので、問合せ、連絡等は担当理事宛にて電話ないしメールで、直接連絡をお願いします。

(総務)	岩本 直樹 (入退会、休会、名義申請等)	046-256-1422	i.naoki@wonder.ocn.ne.jp
(会計)	瀬戸口隆司 (年会費、会費振込等)	03-3929-4459	bachseto@yahoo.co.jp
(写真展)	清水 隆雄 (協会展、公募、選抜展等)	042-563-5778	tshimizu39@comet.ocn.ne.jp
(会報)	飯田 信義 (原稿掲載依頼、DM 掲載等)	048-931-0526	iida_nobu_1413_photo@ybb.ne.jp
(企画)	渡辺 良 (月例会等)	047-479-0511	watanabe_makoto817@yahoo.co.jp
(HP)	鈴木 菊雄 (協会 HP 掲載依頼等)	047-184-0702	suzu99@d9.dion.ne.jp

表紙の言葉

「強風の赤岳西壁」

山梨支部 飯野 金雄

登降する登山者を襲う強風。八ヶ岳文三郎道で撮影した懐かしくも忘れられないワンショットだ。

会員往来

所属変更

- No.207 伊藤 滋 東海→本部
No.619 伊原 明弘 東海→本部
No.670 杉浦 吉治 東海→本部
No.734 高屋 忍 東海→本部
No.878 山内美紀子 東海→本部
(五氏とも令和3年1月より)

住所変更

- No.74 市場 新太郎
〒112-0012 東京都文京区大塚 2-7-2
No.368 笠原 良雄
〒393-0063 長野県諏訪郡下諏訪町 267-13

退会

- No.307 別府 晃
No.610 井上 雅至 (休会退会)
No.635 丸山 智弘
No.1084 永野 正則

総務担当より

◎総会の出欠ハガキは必ず
投函して下さい。

1月号の予告

表紙 松本支部
巻頭言 会長、支部長のあいさつ

年末・年始のあいさつを遠慮する方

市場 新太郎 (姉) 武内 進 (姉)
中谷 照行 (兄) 木村 芳栄 (弟)

日本山岳写真協会 事務所

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号
第一原嶋ビル502号
TEL/FAX.(03)5357-7387
事務所には常駐しておりません

会報担当：飯田信義・上ヶ平裕彦